

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		京都府南部の山城地域において住環境が整備された良好な住宅地の供給について計画の目標を達成することができた。		
II 定量的指標の達成状況	指標(住環境が整備された良好な住宅地の供給戸数)	最終目標値	19,762戸	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	19,941戸	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)				
3. 特記事項(今後の方針等)				
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の期間を1年延伸することにより、当初の最終目標値を達成することができた。 ・2期計画により、引続き京都府南部の山城地域における良好な住宅ストックの形成及び将来世代への承継、良好な住環境の形成を目指す。 				